

Zoo Zoom おびひろ

☆クイズ☆

下の動物はどのエサを食べるかな？
線でつないでみよう！



ミナ



マオ



アイラ



答えはちびっこふぁーむに掲示しています

おびひろ動物園情報誌『Zoo Zoom おびひろ』平成30年度夏号
発行日：平成30年7月1日
編集・発行：おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市字緑ヶ丘2番地
TEL：0155-24-2437 E-mail：zoo@city.obihiro.hokkaido.jp
ホームページ：http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/zoo/
ブログ：http://www.mytokachi.jp/bp/obihirozoo/

ブログ携帯版
はコチラから



アンデスコンドルの『ジャック』（オス・推定61歳）
ジャックは1981年にメスのジェーンと一緒に
野毛山動物園からやって来た、現在国内最高齢の
コンドルです。歳をとっても好奇心旺盛で、
気になるものがあるとよく網から顔を出しています。



動物園の役割 「種の保存」

Breeding Loan

ってなに？

◆動物園ではみなさんに楽しんでもらったり、動物のことを知ってもらうために目標とする4つの役割を掲げているのをご存知ですか？

それは「種（しゅ）の保存」、「教育・環境教育」「調査研究」、「レクリエーション」です。今回はその中の「種（しゅ）の保存」の取り組みの中でBreeding Loan（ブリーディングローン）についてご紹介します。

◆種（しゅ）とは生きものの分類の基本となる単位で、繁殖することができる同じ形をした生きものの一団です。種の中にはすでに絶滅してしまった種や絶滅しそうな種もあります。種は絶滅したら、よみがえらせることはできません。種が絶滅しないように守ることを「種の保存」といいます。

チャップマンシマウマ
「リオ」

「シャンティ」



種の保存の取り組みのうち

Breeding Loan（ブリーディングローン）とは希少動物の種の保存のために、繁殖を目的として動物園や水族館同士で動物を貸し借りする契約制度です。ふつうに動物を購入したり、受け入れるのと違うところは購入費用がかからず、所有権はもとの動物園のままになることです。また、契約期間が過ぎたらもとの動物園に帰ったり、別の動物園に移動することもあります。

おびひろ動物園にもブリーディングローンでやって来た動物がいます。2017年9月にチャップマンシマウマのリオが王子動物園からやってきました。（なので、リオは現在おびひろで暮らしていますが王子動物園のシマウマということです。）現在はキリン・シマウマ舎でメスのシャンティと共に暮らし、繁殖を目指しています。

チャップマンシマウマは現在のところ絶滅のおそれはないとされていますが、シマウマの種によっては国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストで絶滅危惧種に指定されています。

◆このほか、チンパンジーのブヨもブリーディングローンで来園し当園のコウタと繁殖を行った結果、めでたく2017年1月にメスのピナが生まれました。チンパンジーはレッドリストで絶滅危惧種に指定されている動物です。

繁殖事情いろいろ

◆動物園で行う繁殖の管理はブリーディングローンによるものだけではありません。繁殖させないように制限を行っている場合（エゾタヌキのシロは去勢手術をしているため、繁殖はしません）や、ペリカンのペリとカンのように長く一緒に暮らしていて、いつ繁殖してもいいよ！と思っけていても繁殖に至らないこともあります。なかなか思い通りにはいかないものです…。



チンパンジー
「ブヨ」(下) &
「ピナ」(上)



モモイロペリカン
「ペリ」(左) & 「カン」(右)



エゾタヌキ
「シロ」(左) & 「あん」(右)